

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

香住丘

高等学校

38

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>地域社会に積極的に関わり、国際社会のリーダーとして活躍する人材を育成する学校 充実した英語教育・理数教育や海外修学旅行等の学校行事を通じて、地域社会の活性化や世界の発展に貢献できる確かな学力やリーダーシップを身に付け、各方面で活躍する人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>○物事を多面的・多角的に捉え、新たな価値を創造する力の育成 ○他者と協働し、予測困難な時代を柔軟に生き抜く力の育成 ○品格を有し、持続可能な社会の開発に貢献する力の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>○一人一人の考えを対話で深める教育活動 ○個のニーズに応じた教育活動 ○地域社会と連携した教育活動</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>○謙虚で知的好奇心に溢れ、向上心をもって自律しようと努める人 ○社会的関心と社会に貢献する意欲をもち、何事にも積極的に取り組む人 ○多様性を尊重し、共感力をもって他者と協働しようとする人</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針	人間教育に主眼を置き、将来、国家社会に貢献できる人材の育成を目指す。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>昭和60年の開校以来、校訓「玄海の如く、広く、雄々しく、美しく」のもと、「道・学・志」の教育指針に基づき、あらゆる教育活動において「社会を生き抜く力」を培い、高い知性と豊かな人間性を身に付けた生徒の育成に努めてきた。その結果、生徒の希望進路を実現するとともに、部活動においても全国大会等へ出場を果たすなど、学習・部活動の両面で大きな成果をあげている。創立40周年を契機に本校の教育活動・教育内容を抜本的に見直すことにより再構築し、英語科、数理コミュニケーションコースを有する本校の特色を活かし、課題研究等を更に充実させることで、生徒の高い志を育み、予測困難な時代を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長できる人材を育成することのできる「規律ある進学校」としての飛躍を目指す。</p>	<p>「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った不断の授業改革</p>	<p>(1)すべての教科・科目における探究型学習活動の実践 (2)ルーブリックを用いた観点別評価の工夫・改善による学習意欲の向上 (3)ICT活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</p>	
	<p>特色ある学科・コースを両輪とした学校の教育力向上</p>	<p>(1)「英語科」を牽引力とした国際理解教育の充実 (2)「数理コミュニケーションコース」を中心とした「香住丘版理数教育」の充実 (3)教科等横断的な視点に基づく教育活動の工夫・改善 (4)福岡女子大学との高大連携協定締結による特色ある教育活動の推進</p>	
	<p>礼節を重んじ、感性とリーダーシップ・フォロワーシップを育む生徒指導の推進</p>	<p>(1)「規律ある進学校」香住丘生としての誇りと自覚の涵養 (2)学校行事・生徒会活動及び部活動等を通じた感性やリーダーシップの育成 (1)社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成するキャリア教育の推進</p>	
	<p>高い志を育み、希望進路実現を達成するキャリア教育の推進</p>	<p>(2)教育活動を通じて、生徒の個性・能力・適性を十分に伸ばす進路指導体制の確立 (3)同窓生や大学等地域の教育資源の活用</p>	
	<p>相互に他者を敬う人権教育の推進</p>	<p>(1)自他を尊重する精神、高い人権意識・鋭い人権感覚の涵養 (2)学校教育活動全体を通じた人権教育及び道徳教育の一層の充実</p>	
	<p>地域から信頼される学校づくりの推進</p>	<p>(1)学校HPのタイムリーな更新をはじめとして、学校説明会等の開催など、本校の特色ある教育活動を積極的に情報発信するアグレッシブな広報活動の充実 (2)同窓会をはじめ地域人材の教育力導入を図るとともに、地域行事への参加や校種間交流の推進</p>	
	<p>教職員の働き方改革と綱紀の厳正な保持</p>	<p>(1)不断の業務見直しやICTの活用による業務の効率化と組織的な教育活動の実現 (2)適切な人事評価を通じた教職員一人一人の能力開発と人材育成 (3)教育職員としての自覚と責任、倫理観の高揚による不祥事防止等の徹底した取組</p>	

様式3

評価項目		具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学務部	教務課	「主体的・協働的で深い学び」の視点を立った授業改善 教務課の業務マニュアル化及び効率化	①同一科目内で「学習会」を開き、魅力ある授業の実践を目指す。 ②授業アンケートをきちんと分析し、授業改善に生かす。	授業アンケート	
			①業務上の問題点、課題点について話し合い、改善を進める。 ②時間割調整から生徒連絡までの流れを簡略化する。	学校生活アンケート、家庭用チェックリスト	
	教育振興課	学校教育・学校行事の円滑化 PTA・同窓会との連携	①月間行事予定を早めに配布するとともにHPを活用して校外へ発信する。 ②職員室や給湯室等の環境整備を行う。	学校生活アンケート	
			①定期的に行われる役員会を通してPTAとの情報交換を密にし、連携を図る。 ②同窓会役員との情報共有を適切に行い、同窓会との連携を図る。	家庭用チェックリスト	
生徒部	生徒指導課	礼節を重んじ、感受性とリーダーシップを育む生徒指導の推進 地域から信頼される学校づくりの推進	①生徒と教職員間の相互理解を深めるため、爽やかな挨拶を交わす。 ②主体性を引き出すために、言葉かけ等を工夫し、自主性を促す。	学校生活アンケート、いじめアンケート、家庭用チェックリスト	
			①正門前の掲示板やHPを活用し、本校生徒の魅力を発信する。 ②年間を通じて自転車通学集会などの交通安全指導を充実させる。	学校生活アンケート、いじめアンケート、家庭用チェックリスト	
	保健課	心身の健康の保持・増進 快適な学校生活にむけた環境と美化の向上	①各種検診を学校時程と連携させるとともに保護者への治療勧告の徹底を図る。 ②身体計測と体力テストの同日実施にむけて手順や注意点を全職員に周知する。	学校生活アンケート、いじめアンケート、家庭用チェックリスト	
			①清掃時間は全職員が優先して一斉に環境美化に取り組む。 ②美化委員長を中心とした生徒主体の環境美化運動を展開していく。	授業アンケート、学校生活アンケート	
進路部	進路指導課	職業観の涵養とそれに基づく適切な進路選択力の育成 高い志と進路目標実現のための学力養成	①あらゆる教育活動を通して高い志を育み、進路志望を貫かせる指導を行う。 ②外部講師による講話等、進路行事の充実を図る。	学校生活アンケート、事後アンケート	
			①生徒個々に応じた課外授業・補習授業を計画・実施する。 ②推薦型入試や面接・小論文の指導の研究を重ね、指導の充実を図る。	学校生活アンケート、事後アンケート	
	図書課	図書館利用の推進 朝読書の充実	①図書委員会を通して、生徒中心の図書館運営に取り組む。 ②生徒の年間貸出数を3500冊以上にする。	リクエストアンケート	
			①図書委員が朝読書呼びかけの中心になるようにする。 ②読書週間を設け、新たな本との出会いを創設する。	朝読書アンケート	
研修部	研修課	「主体的・協働的で深い学び」にむけた研修 職員研修の充実	①授業研究会を実施し、各教科の授業改善を推進する。 ②ICT関連の職員研修を実施し、「個別最適な学び」を推進する。	授業アンケート	
			①年5回以上の職員研修を実施し、内容の充実を図る。 ②外部主催の研修を積極的に紹介し、自己研鑽の機会を作る。	授業アンケート	
	広報・情報課	ホームページ・公式SNSの内容充実 ICT機器の迅速な整備と適切な管理	①新ホームページ開設に伴い、各科・コースの特徴や魅力の発信を充実させる。 ②公式Instagramの更新頻度を高め、運営体制の充実化を図る。	授業アンケート、学校生活アンケート	
			①電子黒板等のICT機器管理について最適化を図る。 ②一人一台端末を一層適切に管理し、紛失・破損等を防ぐ。	授業アンケート	
英語科	国際社会のリーダーとして活躍する人生の育成 専門学科の指導力向上	①英語科行事を通して、更なる英語力向上と主体性・探究力の育成を図る。 ②校外大会、国際交流への積極的な参加を促す。	授業アンケート		
		①専門科目担当者による、3年間を見通した指導計画を作成する。 ②週1回の英語科会議において、担当者間での情報共有・調整を密に行う。	授業アンケート、学校生活アンケート		
数理コミュニケーションコース	深い科学的思考力の育成 課題研究及び英語学習に対する意欲と学力の向上	①高大連携、産学連携のコース独自の教育活動を年3回以上実施する。 ②実質的2人担任制を実施して業務改善を行い、コース独自の教育活動を更に推進する。	授業アンケート、学校生活アンケート		
		①様々な課題研究発表会において受賞数を維持し、総合型選抜合格者4名以上を目指す。 ②卒業までに英検2級取得15名以上、準2級取得25名以上を目指す。	授業アンケート		

様式3

第1学年	基本的生活習慣の確立	①遅刻・欠席に対して、保護者連絡等、速やかに、きめ細かな対応を行う。 ②掃除による学習環境の整備と授業開始時の学習環境の確認を徹底する。	授業アンケート、学校生活アンケート、 家庭用チェックリスト
	主体的に学習する習慣の確立	①主体的・対話的で深い学びの授業や教科の面白さを伝える授業を実践する。 ②主体的に取り組める教材を準備する。	授業アンケート、学校生活アンケート
第2学年	成人年齢に向けて自覚と責任を持たせる	①1年生の模範となるよう節度ある生活態度を育成する。 ②健康管理の意識を高め欠席しない姿勢を育成する。	授業アンケート、学校生活アンケート、 家庭用チェックリスト
	自発的学習による学習意欲の喚起	①自発的に学習する学習課題を提供する。 ②進路に関する学年行事を充実させ進路意識の喚起を行う。	授業アンケート、学校生活アンケート
第3学年	最上級生としての矜持の喚起	①学校行事でのリーダーシップ・フォロワーシップを育成する。 ②心身を共にした健康に留意しつつ、安易な遅刻・欠席をしない。	授業アンケート、学校生活アンケート、 家庭用チェックリスト
	最後まで「第1志望」に挑戦する主体的な意欲の喚起	①進路に関する情報提供・相談体制の改善を図る。 ②生徒への学年分析会や進路講演会を実施する。	授業アンケート、学校生活アンケート
人権教育	相互に他者を敬う人権教育の推進	①教員自身が、教育者として人権意識の高い言動を心がける。 ②主体性や協働性などを育成する人権教育特設授業を実施する。	学校生活アンケート、家庭用チェックリスト、 授業振り返り会の実施
	人権に関する知的理解と人権感覚の涵養	①生徒に「考えさせ、気づかせる」人権・同和教育授業を実施する。 ②十分な職員研修(学習会)と人権・同和教育授業後の振り返り会を実施する。	学校生活アンケート、家庭用チェックリスト、 人権教育授業アンケート
事務部	特色ある学校づくりのため、校内で少なくとも1か所以上の環境改善を図る。	①各分掌の要望を確認し、今後の学校の方向性に合致した施設・設備改修の予算要求を行う。	学校生活アンケート
	各分掌と事務室との連携を推進するとともに	①各部との連携を密に行い、必要な教育環境整備を進める。 ②地域や関係機関との情報交換に努め、今後の広報のあり方を検討する。	学校生活アンケート
	定期的な施設の点検を徹底するとともに、校内の危険個所の把握及び改善に努める。	①環境整備班と連携し、定期的に校内を巡回するなど危険個所の把握に努める。 ②施設・設備の適正な使用を促進し、教職員の理解・協力を徹底する。	学校生活アンケート